

平成22年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクト基本計画(案)にいただいた意見と対応方針

6名の方から、20項目のご意見・ご質問をいただきました。

対応方針は、11月29日開催の第11回鳥取駅前太平線再生プロジェクト検討委員会で協議検討されたものです。

	区分	いただいた意見・質問等	対応方針
1	ハード整備に関すること	他県の大屋根（全蓋アーケード）を見た時に、その下に植えられている樹木の育ちがあまり良くなかった。光は大屋根から差し込んでいたが、植物の成長に必要な日光が取り込めていないようであった。予定されている芝生空間は陰にならないか。	基本計画（案）P17,18に大屋根の断面図及びイメージ図を記載していますが、このたび計画している大屋根の車道上部（幅10m程度）は開閉できる構造を予定しています。車道上部は、通常時は常に開閉部を開けることとしていますので、芝生等の植物に日光は取り込めるものと考えています。 なお、車道上部を閉める場合は、イベント時に天候が悪い場合等を想定しています。
2		芝生空間をキッズパークとして活用する場合、車道側だけでなく、大丸側にも柵などでの対応が必要ではないか。芝生空間と大丸の間は自転車も通行する。	基本的に自転車は車道を走行することとしています。歩道では、自転車から降りてもらおうと考えております。よって、芝生空間と大丸の間に柵を設置することは考えていませんが、詳細設計の中で安全対策には十分配慮を行います。 なお、歩道内での自転車の取り扱いについて、基本計画(案)に加筆を行います。
3		芝生を敷くことで、高齢者のタクシーの乗り降りが不便になるのではないかと。さらに渋滞を招く恐れもある。	大丸前にはくる梨のバス停を設置しますが、一般車については駐停車禁止区域となります。また、基本計画(案)P14に記載しておりますが、芝生広場と車道の間には、安全のため人止め柵を設ける計画としています。タクシーの降車については、大丸前以外の街区に計画している荷捌兼乗降スペースをご利用いただけます。乗車については、既存の大丸南側のタクシー乗り場等を想定しています。
4		芝生広場の維持管理を考えると、人工芝も検討してください。	芝生については、天然芝の鳥取方式を採用することにしており、設計、施工、管理についても専門家のアドバイスを受けながら行う予定です。芝生管理については、基本計画（案）P10に記載していますが、新鳥取駅前地区商店街振興組合（以下「商店街組合」という。）と本市で役割分担を決め、協働で管理を行ないます。
5		豪雪地帯の鳥取なので、予測不能な大雪が降った際、大屋根から道路へどさっと雪・氷柱が落ちてこないのか。自動車のフロントなどにおちてくると大きな事故につながる。	詳細設計において、建築基準法を順守するとともに、雪等の落下しない構造を検討し、安全を確保します。
6		シェルターの屋根材は、駅前アーケードのポリカーではなく、パスターミナル横にある白い膜素材がいいと思う。	詳細設計時に景観、建設費及び維持管理費等を考慮しながら、素材を決定していきます。
7		鳥取大丸は地元中高年層の客層が多く、自転車での来店も非常に多い。整備後の自転車を置くスペースの記載がないが対応はどうか。	駐輪場位置詳細については、今後鳥取大丸と協議を行います。基本計画（案）P15の施設計画図の通り地下道入り口脇などに計画しています。（駐輪区画は黄色で着色） なお、施設計画図に凡例が付いていないため、駐輪場等が分かるよう修正を行います。
8		パブリックアート（体感型屋外彫刻）の設置としてはどうか。芝生の中にさりげなくあり、従来の彫刻だけでなく、子供たちがふれあい体感できる物 たとえば、車止め、ベンチ等は既製のものではなく遊び心がある物とか地元作家等とのコラボレーション（フォルムのコンセプトとして、鳥取の名産である松葉ガニ、梨、らっきょう等アレンジした物）はどうか。	詳細設計で今後検討する内容であり、ご意見を参考とさせていただきます。
9		リサイクル製品の使用を検討してください。廃木材と廃プラスチックを主原料とした100%再生建材（見た目や肌触りなど天然木の風合い）の利用等。	同上
10		LED照明や全体的な照明効果に景観アプローチライト（鳥取県内で排出される廃瓦をコンクリート骨材として利用）の使用を検討してください。	同上

	区分	いただいた意見・質問等	対応方針
11	ソフト事業に関すること	大屋根をかけることにより、新たなにぎわい空間となると思うが、それだけで人は来るのか。天候に左右されずイベントが行なえ、人は集まるだろうが、一時的なものになるのではないか。既存店舗（大丸・商店街各店舗）の個店の魅力を上げる努力「行きたい」と思わせる工夫や仕掛けが必要ではないか。	本事業は、ソフト施策を重要視しており、空き店舗対策や既存店舗への支援を予定しています。また、運営管理については、基本計画（案）P9、10に記載していますが、商店街組合と本市の官民協働で広場の活用管理を行い、活性化を図っていきます。
12		たくさんの人でにぎわった場合、飲食等によるかなりのゴミが出るのが予想されます。ゴミ箱を何時間おきかには収集をしなければ芝生の上にゴミが溢れ、せっかくの景観を損ねる。清掃、芝の維持管理等は商店街振興組合の管理となっているが、自分のお店を運営しながら作業するのはとても大変ではないか。	商店街組合が主体となり、本市と協働で管理を行います。
13		空間活用計画に大丸前の計画はあっても、周辺の商店街にも流れて行く様に連携を取り合っイベント等を企画してください。	商店街組合が主体となり、本市も交え大丸や沿線商店の連携を企てるイベントを検討します。
14		大丸2階テラスを活用するのは良いが、”大丸と商店街を一体的に”というのであれば、商店街からも上げられるほうがよい。店舗内からしか出入りできないのか。	大丸2階へは南側と北側の外階段より出入りができるようになる予定です。（現在は閉鎖しております。）
15		空間整備と併せて、商店街既存店舗のファサード整備も必要である。ファサードを統一することで（大丸を含め）、より一体的な空間になるのではないか。	検討委員会でも同様な意見が出ており、市としてもファサード整備等の補助を創設する予定としています。商店街組合と本市で協議を行う予定です。（基本計画（案）P12に記載）
16	その他	駅前には憩いのスペースがなく、汽車待ちの時間をどこで過ごすのか迷うことが多い。シェルターを設置により、天候が悪い時でも時間消費ができて便利である。また、大丸1階ピロティ、カフェテラスは芝生広場と一体化しており子供連れで訪れた場合、カフェでゆったりくつろぎながら子供を目の届く範囲内で遊ばせられるのでとても便利だ。芝生を敷くことで解放感が味わえると同時に目の保養にもなるので、自然と長居をしまい人を滞留させる意味では効果がある。	ご意見ありがとうございます。
17		イベントのPR活動は鳥取市報でもよいが、ここを「鳥取の顔」とするのであればJR鳥取駅構内などに電子掲示板などを設置し、多くの人に情報を伝えるのも効果的ではないか。また、休日だけでなく平日にも自然と人が滞留するような仕掛けを考える必要があるのではないか。	ご意見を参考とさせていただきます。
18		集客のためには、大型ビジョンと音の演出や、食（賀露の食材&B級グルメ等）、定期的なイベント、ソフトの充実が必要でないか。	ご意見を参考とさせていただきます。大型ビジョンについては、検討委員会でも議論しましたが、維持管理費が多にかかるため、設置しないことにしています。また、イベントなどソフトの充実については、基本計画（案）P7～8にも記載しています。
19		駐車場の確保はどのくらい考えているか。郊外型店舗が賑わっている要因は大型駐車スペースがあるためと考えられる。	今年度から、鳥取駅周辺の駐車場事業者や商店主との連携により、イベント等にあわせて時間貸し駐車場の利用料金を軽減する取り組みを行なっています。今後は鳥取駅周辺での公共駐車場整備の必要性についても検討を行なう予定です。
20		駅前に皆の集まる場ができることは良いことだ。そのためには、老若男女が飽きることなく足を運ぶ魅力のある場を造ることが必要である。今より人が集まるためには、駐車場を安く利用できる配慮も必要だ。駅前に行きたいと思わせるような整備でないと一時的な客寄せで終わってしまう。高校生の子供は、もっと駅前に高校生が気軽に集える場を作ってほしいと言っています。	ご意見を参考とさせていただきます。